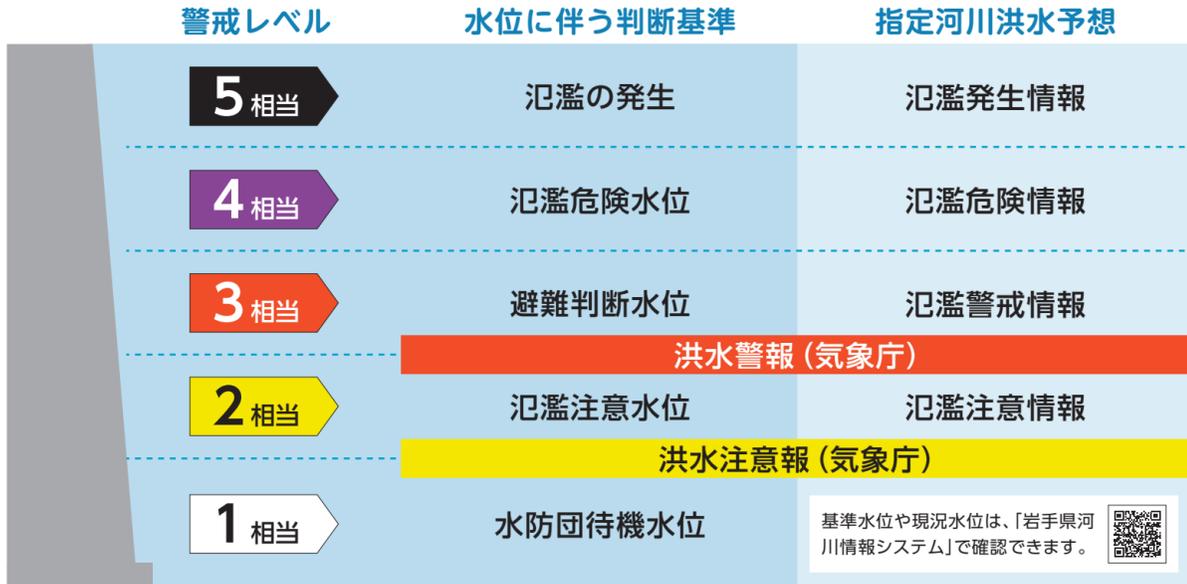


指定河川洪水予報

北上川・胆沢川・人首川・衣川については、盛岡地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する岩手河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し、指定河川洪水予報を発表します。



ため池ハザード情報

ため池の決壊を事前に予測することは非常に困難です。いざと言う場合に備えて、日頃からの準備をし、避難指示が発令された時は、速やかに避難・安全確保をしてください。

日頃からの維持管理を!

ため池堤体の草刈り、洪水吐けの清掃の徹底
大雨や長雨が予想される場合、低水位とするなどの工夫

浸水ランクの目安

浸水ランクと、実際に建物のどこまで水がくるか、などを記載しました。このハザードマップに記載されている洪水浸水想定区域は、北上川・胆沢川・人首川・衣川のみです。

浸水ランクの目安

5.0m 以上	2階が水没、3階床面が浸水
3.0～5.0m 未満	2階床面が浸水
0.5～3.0m 未満	1階が床上浸水
0.5m 未満	1階が床下浸水



身を守るために

- ①電気機器のスイッチを切って、電源プラグをコンセントから外す
- ②自宅等を離れる際はブレーカーを落とす
- ③再通電時には安全を確認してから電気機器を使用する

浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

想定した大雨の規模

北上川(明治橋地点下流 北上川流域の2日間の総雨量 264mm / 明治橋地点上流 北上川流域の2日間の総雨量 313mm)
胆沢川(胆沢川上流域の2日間の総雨量 675mm)
人首川(人首川流域の2日間の総雨量 347mm)
衣川(衣川流域の2日間の総雨量 466mm)

浸水時・復旧後の火災

浸水の被害とあわせて、長時間にわたる停電の発生も起こりえます。復旧工事を終え、再通電をする時には、電気機器または配線から出火する「通電火災」に注意しましょう。

台風の強さ・雨の降り方

気象情報を見るときに、下の表と照らし合わせて、台風・雨の強さの度合いと想定される影響を理解しましょう。

台風				
平均風速 (m/s)	風の強さ (予報用語)	速さの目安	影響	およその瞬間風速 (m/s)
30 以上～	猛烈な風	特急電車	住宅が倒壊する危険がある。	50～
25 以上～ 30 未満	非常に強い風	高速道路の自動車	立ってられない。屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。	40～
20 以上～ 25 未満			身体を確保しないと転倒する。道路標識が傾く。	30～
15 以上～ 20 未満	強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩けない。転倒の危険性がある。	20～
10 以上～ 15 未満	やや強い風		風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	～20

雨			
1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	影響
80 以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要。
50 以上～ 80 未満	非常に激しい雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
30 以上～ 50 未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
20 以上～ 30 未満	強い雨	どしゃ降り	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。
10 以上～ 20 未満	やや強い雨	ザーザーと降る	雨の音で話し声がよく聞き取れない。

集中豪雨(ゲリラ豪雨)

集中豪雨(局地的大雨、ゲリラ豪雨などとも呼びます)は限られた地域に突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は非常に困難なため、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

アンダーパスは通らないで!

交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路をアンダーパスといいます。冠水により車両が水没してしまう危険があるため、無理に通行せず、迂回をしてください。



身を守るために

- ①急な降雨の場合は、一時外出を控える
- ②外出途中の場合は、雨宿りをする
- ③車の運転中は、一時駐車場等で待機する